

## 演題名：U-40 ワーキンググループ 教育資材作成の取り組み

[演者]東 陽子:1

[共同演者]山口 貴久:2, 須田 倫之:3, 阿部 朋未:4, 藤枝 悠希:5, 中堤 啓太:6, 荒井 啓輔:7,  
齊藤 光江:8

1. 東邦大学医学部外科学講座呼吸器外科学分野
2. 石川県立中央病院消化器外科
3. 静岡県立静岡がんセンター肝胆膵外科
4. がん研究会有明病院乳腺外科
5. 高知大学医学部外科学講座（小児外科学）
6. 東京医科歯科大学病院救命救急センター
7. 神戸大学大学院肝胆膵外科学
8. 順天堂大学乳腺腫瘍学講座

2024年からの医師の働き方改革制度の施行にあたり、外科医の労働時間短縮は必須である。本制度により労働環境の改善が期待される一方で、外科修練医が手技や知識を習得する時間の確保が難しくなる可能性がある。そのため、指導医・修練医ともに業務効率化と質の高い外科教育・学習を両立するための意識改革が必要となってくる。そこで日本外科学会は、領域横断する基盤学会として、外科修練医の新たな学習ツールを提供すべく U-40 ワーキンググループの活動目標の 1 つに教育資材の作成を掲げた。空いた時間に好きな場所で視聴するための『スキマ時間動画』と称し、消化管・肝胆膵・呼吸器・循環器・乳腺内分泌・小児・外傷救急の各分野から、サブスペシャリティを問わず外科医が身につけるべき基本的な手技や知識に関するコンテンツを提案・作成している。コンテンツ動画は将来的に日本外科学会 e-learning と連動し、学会会員へ向けて発信される予定である。e-learning は学習の場所や時間を選ばず、受講者がスケジュールに合わせて自由に活用できるため、修練医が施設の教育環境やライフイベントに左右される事なく学習する機会を提供できる可能性がある。働きやすさ・学びやすさは若い世代にとって大きな魅力であり、今回の U-40 ワーキンググループでの取り組みが今後も発展し、外科修練医のスキルアップ、さらに外科志望者の増加に繋がる事を期待する。本セッションでは、教育資材作成に関する活動内容および各分野の作成動画の一部を紹介する。